



2025年3月期 第2四半期 決算報告

2025年3月期 第2四半期 決算報告 ①

指標 (百万円)	2024年 3月期 第2四半期	2025年 3月期 第2四半期	増減	対比:%
売上高	27,705	28,726	1,021	3.7
営業利益	▲309	759	1,068	—
営業利率: %	▲1.1%	2.6%	3.7%	—
経常利益	466	839	373	80.0
当期純利益	367	542	175	47.6

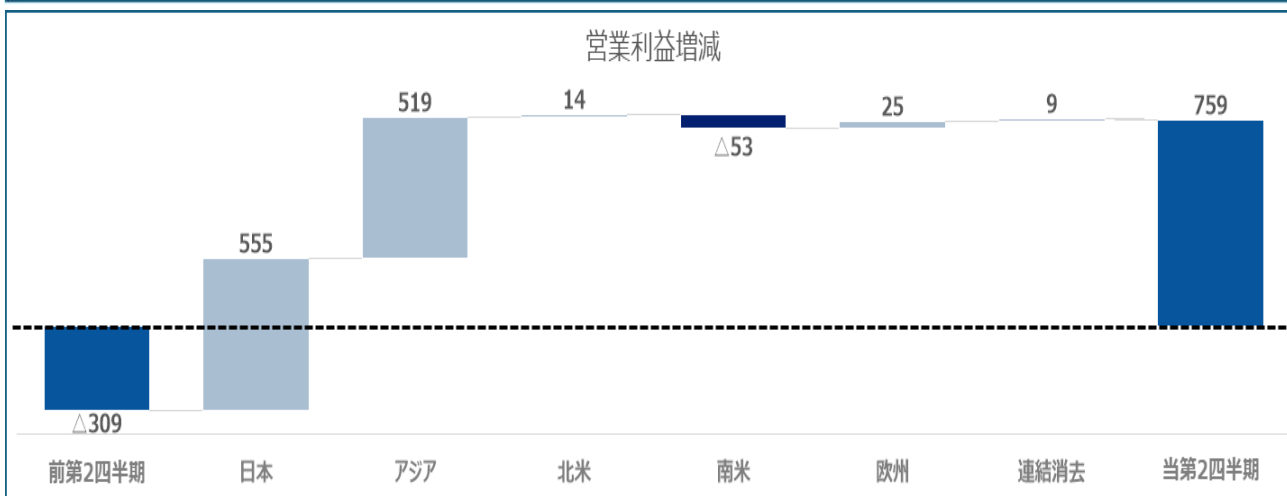
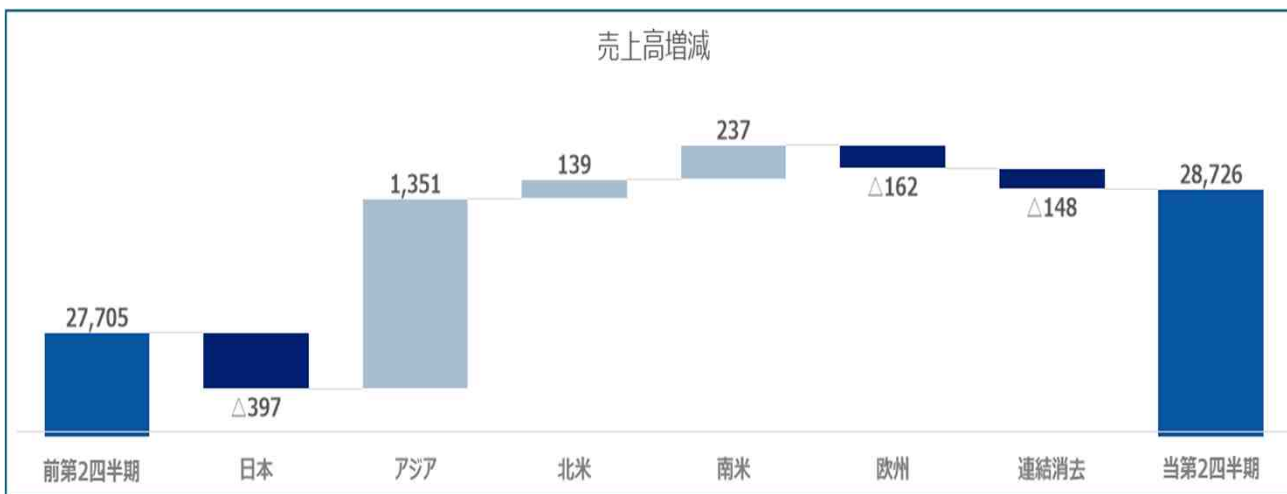
第1四半期から第2四半期にかけて、価格転嫁の効果が確実に反映されてきており、引き続き利益改善に向け組んでまいります。

- 売上高は昨年比で3.7%増加、営業利益は昨年309百万円の営業損失でしたが、今期は759百万円の営業利益となりました。
売上高は為替が円安基調で推移したことによる為替換算の影響もあり増収。利益面はコスト上昇分の価格転嫁が進んことで増益。
- 当期純利益は、昨年比47.6%増加となりました。

指標	2025年3月期		増減
	4-6月	7-9月	
売上高	14,381	14,344	△37
営業利益	159	599	440
営業利益率: %	1.1%	4.2%	3.1%

2025年3月期 第2四半期 決算報告 ② セグメント前期比較

(単位：百万円)



■ 日本

完成車メーカー向け二輪車用アルミリム、農業機械用ホイールの受注が低調となったものの、利益面では、エネルギー価格及び人件費等のコスト上昇分について、価格転嫁が進んで利益が改善

■ アジア

円安による為替換算の影響に加え、インド・中国において完成車メーカー向け二輪車用チェーンの受注が好調に推移

■ 北米

米国の金利政策や大統領選挙への先行き不透明感から、設備投資への消極的な姿勢が継続したこともあり産業機械用チェーンの受注が減少、一方円安による為替換算の影響に加え、補修市場向けにおいて、二輪車用チェーンの受注が好調に推移

■ 南米

二輪車用チェーンの受注が好調に推移したものの、干ばつの影響により、船便の航行規制対応に伴い航空運賃等の費用が増加したことや、現地競合先との価格競争激化により、前期比で営業利益は減少

■ 欧州

補修市場向けにおいて、前期までのコロナ特需が一服し代理店が在庫調整に入ったことで、二輪車用チェーンの受注が低調に推移利益面では、エネルギー価格及び人件費等のコスト上昇分について、価格転嫁が進んだことから増益

2025年3月期 第2四半期 決算報告 ③ 事業別売上高前期比較と事業別売上高構成比率

- 二輪・その他で前年比増収したものの、四輪・産機部門では減収となりました。

